

## 平成22年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査 調査結果一覧 [確定値]

## 調査内容（調査対象）

- 1 暴力行為の状況（公立小・中・中等教育・高等学校）
- 2 いじめの状況（公立小・中・中等教育・高・特別支援学校）
- 3 不登校児童・生徒の状況（公立小・中・中等教育学校）
- 4 長期欠席者・不登校生徒の状況（公立高等学校）
- 5 中途退学者等の状況（公立高等学校）
- 6 児童・生徒の自殺の状況（公立小・中・中等教育・高等学校）
- 7 出席停止の状況（公立小・中・中等教育学校）
- 8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

平成24年2月

神奈川県教育委員会



もっと、話そうよ。大切な家族だから。

ファミリー・コミュニケーション運動

検索

## 1 暴力行為の状況【公立小・中（中等教育学校を含む）高等学校】

## (1-1) 暴力行為の発生状況

## ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	学校内				学校外				計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	861	209	24.3	1,138	798	51	5.9	84	102	1,222	900
中学校	415	367	88.4	4,710	3,562	204	49.2	467	581	5,177	4,143
高等学校	161	114	70.8	610	768	32	19.9	50	74	660	842
計	1,437	690	48.0	6,458	5,128	287	20.0	601	757	7,059	5,885

## イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	学校内					学校外					計			
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)	※病院	加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)	※病院	加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生件数(件)	※病院
小学校	861	82	9.5	184	24	127	119	3	0.3	3	1	2	3	187	25
中学校	415	218	52.5	798	237	621	653	4	1.0	4	2	8	4	802	239
高等学校	161	38	23.6	52	3	55	49	2	1.2	2	0	2	2	54	3
計	1,437	338	23.5	1,034	264	803	821	9	0.6	9	3	12	9	1,043	267

## ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	学校内					学校外					計			
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)	※病院	加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生件数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)	※病院	加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生件数(件)	※病院
小学校	861	150	17.4	645	86	513	431	45	5.2	69	9	91	60	714	95
中学校	415	353	85.1	2,504	634	2,525	2,046	198	47.7	359	110	496	305	2,863	744
高等学校	161	104	64.6	311	61	430	314	24	14.9	37	8	54	38	348	69
計	1,437	607	42.2	3,460	781	3,468	2,791	267	18.6	465	127	641	403	3,925	908

## エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	学校内					学校外					計			
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)	※病院	加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生件数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)	※病院	加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生件数(件)	※病院
小学校	861	4	0.5	10	0	10	9	9	1.0	12	1	22	8	22	1
中学校	415	11	2.7	20	11	22	17	63	15.2	104	27	153	101	124	38
高等学校	161	6	3.7	11	1	19	13	10	6.2	11	6	18	11	22	7
計	1,437	21	1.5	41	12	51	39	82	5.7	127	34	193	120	168	46

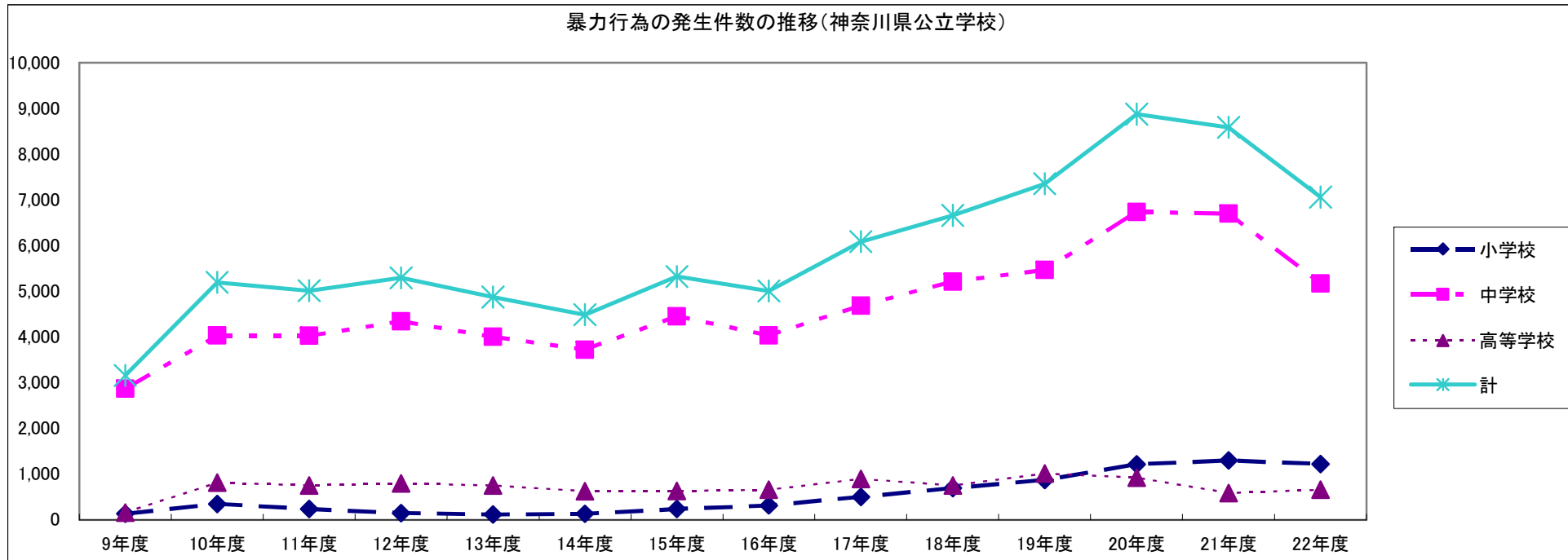
オ 器物損壊

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	861	98	11.4	299	284
中学校	415	262	63.1	1,388	1,224
高等学校	161	69	42.9	236	264
計	1,437	429	29.9	1,923	1,772

※ア～オともに

- (注1)学校総数は、平成22年度学校基本調査の数値。高等学校の学校数は、全日制、定時制及び併置校の合計数。
- (注2)発生学校数は、のべ数。発生件数のうち※病院の欄は、調査時点で学校が把握している情報に基づき、当該暴力行為により被害者が病院で治療した件数を、発生件数の内数として計上。
- (注3)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注4)「合計」欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注5)「合計」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童・生徒が複数の形態の加害児童・生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数の数値と一致しない。

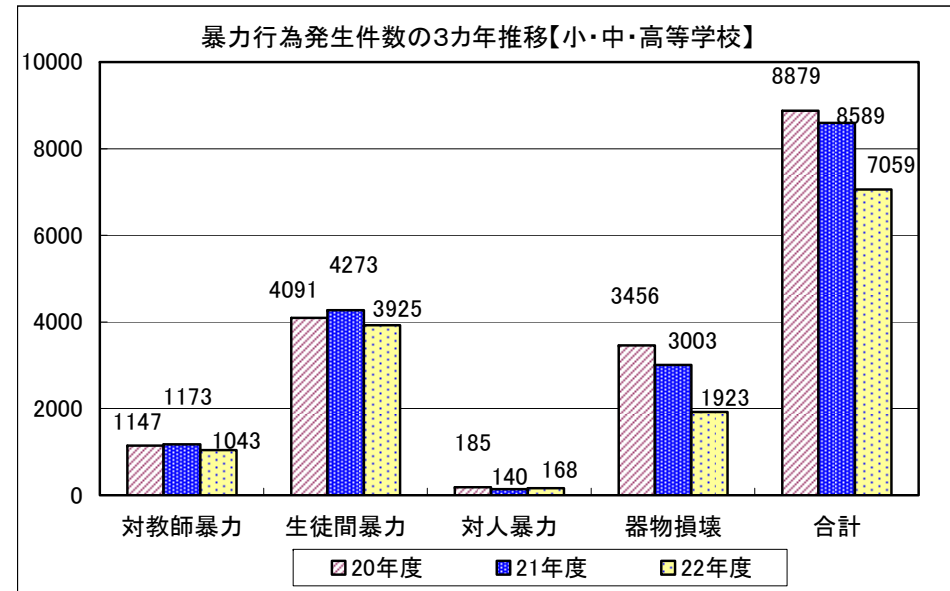
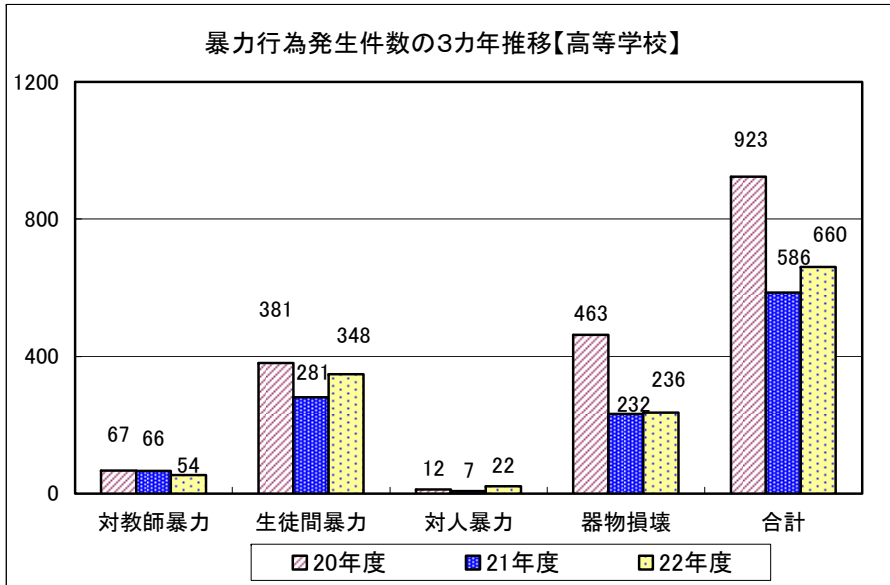
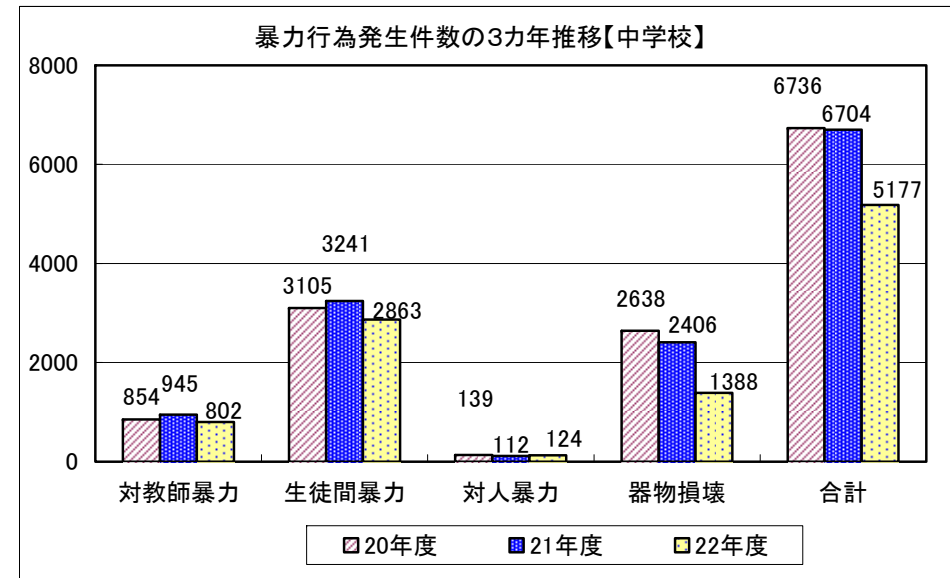
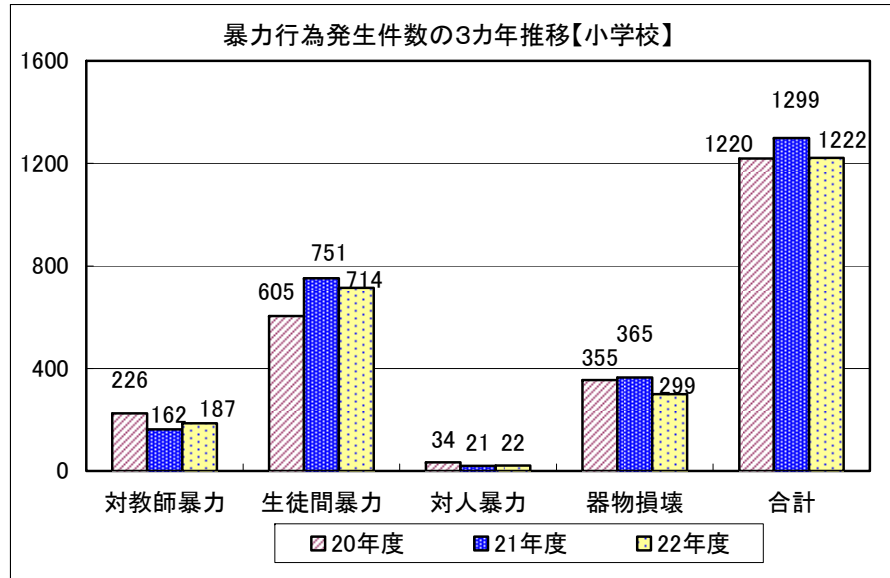
(参考1)  
暴力行為の発生件数の推移



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
小学校	132	348	237	151	115	132	237	318	501	695	875	1,220	1,299	1,222
中学校	2,871	4,035	4,027	4,345	4,006	3,727	4,453	4,032	4,688	5,214	5,465	6,736	6,704	5,177
高等学校	159	811	751	799	754	627	631	657	899	754	1,014	923	586	660
計	3,162	5,194	5,015	5,295	4,875	4,486	5,321	5,007	6,088	6,663	7,354	8,879	8,589	7,059

(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3力年推移





## (1-5)加害児童・生徒に対する学校の対応

## ア 指導した者

区分	学級担任や他の教職員が指導			養護教諭が指導			校長、教頭が指導			スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			その他の者が指導		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	850	100	950	257	5	262	399	35	434	54	7	61	37	6	43
中学校	4,211	571	4,782	202	12	214	806	73	879	79	14	93	117	53	170
高等学校	661	62	723	44	12	56	610	52	662	40	2	42	23	6	29
計	5,722	733	6,455	503	29	532	1,815	160	1,975	173	23	196	177	65	242

## イ 連携した機関等

区分	警察等の刑事司法機関等と連携した対応			児童相談所等の福祉機関等と連携した対応			病院等の医療機関等と連携した対応			その他の専門的な関係機関等と連携した対応			地域の人材や団体等と連携した対応		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	15	20	35	34	10	44	47	3	50	47	5	52	18	6	24
中学校	399	215	614	139	32	171	130	11	141	52	17	69	34	13	47
高等学校	14	12	26	0	0	0	6	3	9	8	0	8	0	0	0
計	428	247	675	173	42	215	183	17	200	107	22	129	52	19	71

## ウ 指導等の内容

区分	被害者等(被害者の関係者を含む)に対する謝罪指導			友人関係を改善するための指導			ルール of 徹底や規範意識を醸成するための指導			個別に学習支援			当該児童・生徒が意欲を持って活動できる場を用意		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	643	82	725	549	55	604	692	71	763	130	9	139	294	14	308
中学校	3,344	355	3,699	1,980	261	2,241	3,072	441	3,513	173	25	198	357	49	406
高等学校	436	50	486	357	38	395	628	45	673	240	19	259	64	6	70
計	4,423	487	4,910	2,886	354	3,240	4,392	557	4,949	543	53	596	715	69	784

区分	教職員との関係改善			保護者の協力を求めて、家族関係等の改善・調整			その他		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外	
小学校	159	11	170	443	30	473	8	2	10
中学校	650	22	672	1,712	300	2,012	27	13	40
高等学校	63	2	65	221	19	240	6	2	8
計	872	35	907	2,376	349	2,725	41	17	58

※ア、イ、ウともに

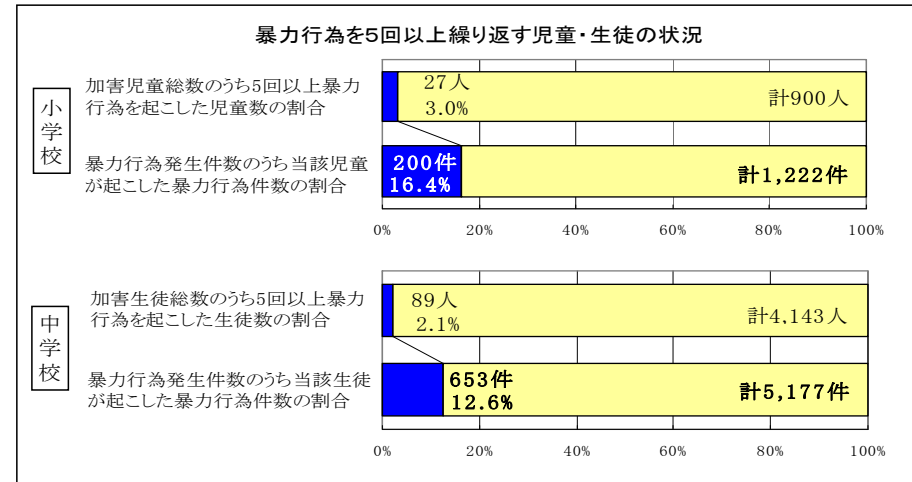
(注1)複数選択可。

(注2)「連携した機関等」には、当該機関の関係団体や関係者を含む。  
なお、「警察等の刑事司法機関等と連携した対応」には「サポートチーム」の取組などを含む。

(1-6) 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

		小学校	中学校	高等学校
該当児童・生徒数		27	89	0
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数		200	653	0
内訳	対教師暴力	49	197	0
	生徒間暴力	108	296	0
	対人暴力	1	12	0
	器物損壊	42	148	0
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合		3.0	2.1	-
(再掲) 当該学年における加害児童・生徒数		900	4,143	-
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合		16.4	12.6	-
(再掲) 暴力行為発生件数		1,222	5,177	660



(参考)

【小学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	1	0	1	0	6	1	3	0	4	1	9	1	24	3	27	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	14	0	10	0	40	7	15	0	34	5	70	5	183	17	200	
内訳	対教師暴力	10	0	0	0	10	0	7	0	6	4	12	0	45	4	49
	生徒間暴力	3	0	10	0	26	4	8	0	7	0	50	0	104	4	108
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	器物損壊	1	0	0	0	4	3	0	0	21	1	7	5	33	9	42

【中学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	23	0	40	1	24	1	87	2	89	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	170	0	303	6	169	5	642	11	653	
内訳	対教師暴力	26	0	90	3	78	0	194	3	197
	生徒間暴力	115	0	122	1	53	5	290	6	296
	対人暴力	5	0	6	0	1	0	12	0	12
	器物損壊	24	0	85	2	37	0	146	2	148

## イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	① 本人に粗暴的な性格が見受けられる	25	92.6	86	96.6	111	95.7
	② 本人の規範意識が低いと思われる	22	81.5	83	93.3	105	90.5
家庭の問題	③ 養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	6	22.2	9	10.1	15	12.9
	④ ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	1	3.7	8	9.0	9	7.8
	⑤ 家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	16	59.3	55	61.8	71	61.2
学校の問題	⑥ 友達との人間関係をうまく構築できない	17	63.0	40	44.9	57	49.1
	⑦ 教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	3	11.1	30	33.7	33	28.4
	⑧ 校内での非行グループ化が背景にある	0	0.0	38	42.7	38	32.8
	⑨ 卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	2	7.4	45	50.6	47	40.5
	⑩ 授業を理解できないことが原因と思われる	6	22.2	62	69.7	68	58.6
その他	⑪ その他	5	18.5	8	9.0	13	11.2

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	27	中学校	89	合計	116
----------	-----	----	-----	----	----	-----



## 2 いじめの状況【公立小・中（中等教育学校を含む）・高・特別支援学校】

### (2-1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数： A(校)	認知学校数： B(校)	比率： B/A×100(%)	認知件数： C(件)	1校あたりの認知 件数：C/A(件)	認知していない 学校数：D(校)	比率： D/A×100(%)
小学校	861	463	53.8	1,998	2.3	398	46.2
中学校	415	362	87.2	2,358	5.7	53	12.8
高等学校	186	71	38.2	116	0.6	115	61.8
特別支援学校	43	9	20.9	28	0.7	34	79.1
計	1,505	905	60.1	4,500	3.0	600	39.9

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとする。  
「いじめ」とは、「当該児童・生徒が一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。  
なお、起こった場所は学校内外を問わない。

(注2)調査対象：公立小・中・高等・特別支援学校

(注3)学校総数は、高等学校の全定併置校を全日制、定時制をそれぞれ1校(計2校)として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

### (2-2)いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

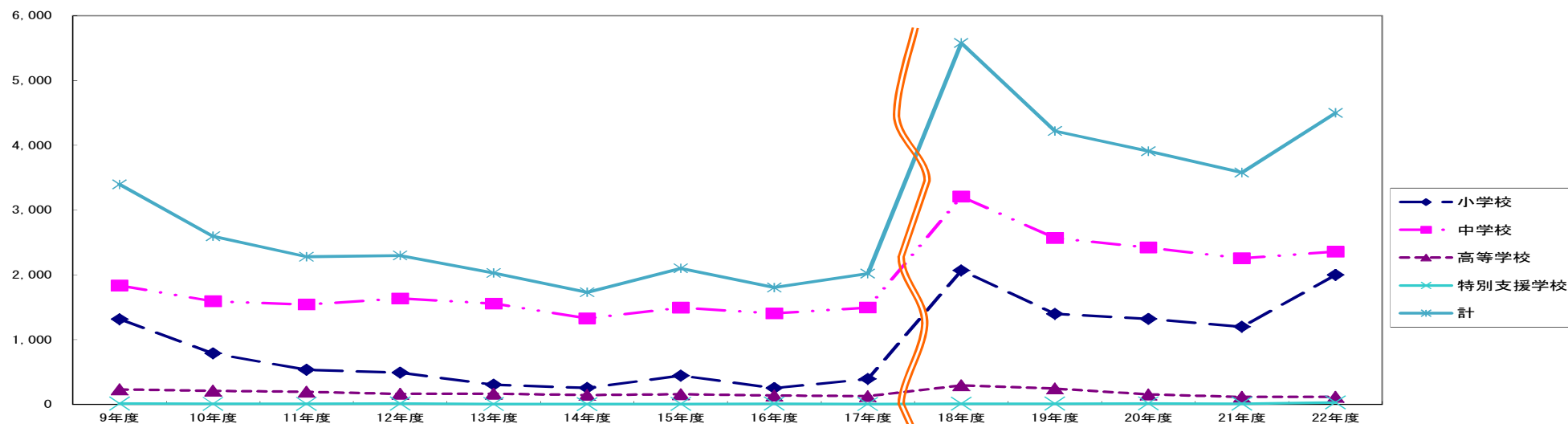
区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計
男子	72	121	167	229	273	285	1,147	630	504	220	1,354	55	21	6	82
女子	45	71	82	176	225	252	851	487	367	150	1,004	17	13	4	34
計	117	192	249	405	498	537	1,998	1,117	871	370	2,358	72	34	10	116

区分	特別支援学校																計	合計
	小学部							中学部				高等部						
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計			
男子	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	15	3	2	20	22	2,605	
女子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	2	5	6	1,895	
計	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	16	5	4	25	28	4,500	

(参考)

いじめの認知(発生)件数の推移

いじめの認知(発生)件数の推移(神奈川県公立学校)



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
小学校	1,315	787	534	489	303	254	444	252	393	2,068	1,397	1,320	1,198	1,998
中学校	1,836	1,592	1,542	1,635	1,556	1,328	1,493	1,405	1,495	3,209	2,569	2,421	2,256	2,358
高等学校	232	209	195	162	164	145	156	136	126	294	244	154	115	116
特別支援学校	13	7	8	12	4	3	6	11	5	9	11	14	11	28
計	3,396	2,595	2,279	2,298	2,027	1,730	2,099	1,804	2,019	5,580	4,221	3,909	3,580	4,500

(2-3)いじめの現在の状況

区分	解消しているもの		一定の解消関係が図られたが、継続支援中		解消に向けて取組中		他校への転学、退学等		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	1,214	60.8	622	31.1	136	6.8	26	1.3	1,998	100
中学校	1,533	65.0	623	26.4	178	7.5	24	1.0	2,358	100
高等学校	90	77.6	18	15.5	1	0.9	7	6.0	116	100
特別支援学校	15	53.6	12	42.9	0	0.0	1	3.6	28	100
計	2,852	63.4	1,275	28.3	315	7.0	58	1.3	4,500	100

## (2-4)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	921	46.1	1,039	44.1	46	39.7	17	60.7	2,023	45.0
学級担任が発見	791	39.6	693	29.4	18	15.5	15	53.6	1,517	33.7
学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	58	2.9	212	9.0	16	13.8	1	3.6	287	6.4
養護教諭が発見	7	0.4	23	1.0	1	0.9	1	3.6	32	0.7
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	5	0.3	12	0.5	0	0.0	0	0.0	17	0.4
アンケート調査など学校の取組により発見	60	3.0	99	4.2	11	9.5	0	0.0	170	3.8
学校の教職員等以外からの情報により発見	1,077	53.9	1,319	55.9	70	60.3	11	39.3	2,477	55.0
本人からの訴え	410	20.5	701	29.7	44	37.9	8	28.6	1,163	25.8
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	449	22.5	441	18.7	12	10.3	1	3.6	903	20.1
児童・生徒(本人を除く)からの情報	117	5.9	109	4.6	9	7.8	1	3.6	236	5.2
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	91	4.6	56	2.4	5	4.3	0	0.0	152	3.4
地域住民からの情報	4	0.2	4	0.2	0	0.0	0	0.0	8	0.2
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	4	0.2	7	0.3	0	0.0	1	3.6	12	0.3
その他(匿名による投書など)	2	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.1
計	1,998	100	2,358	100	116	100	28	100	4,500	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

## (2-5)いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	1,439	72.0	1,616	68.5	75	64.7	15	53.6	3,145	69.9
学級担任以外の教職員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	258	12.9	619	26.3	31	26.7	0	0.0	908	20.2
養護教諭に相談	131	6.6	171	7.3	13	11.2	3	10.7	318	7.1
スクールカウンセラー等の相談員に相談	70	3.5	146	6.2	5	4.3	0	0.0	221	4.9
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	21	1.1	52	2.2	1	0.9	2	7.1	76	1.7
保護者や家族等に相談	652	32.6	740	31.4	28	24.1	5	17.9	1,425	31.7
友人に相談	69	3.5	154	6.5	9	7.8	0	0.0	232	5.2
その他(地域の人など)	6	0.3	3	0.1	1	0.9	0	0.0	10	0.2
誰にも相談していない	93	4.7	89	3.8	13	11.2	9	32.1	204	4.5
いじめの認知件数	1,998		2,358		116		28		4,500	

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

## (2-6)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	1,421	71.1	1,461	62.0	72	62.1	21	75.0	2,975	66.1
仲間はずれ、集団による無視をされる	439	22.0	367	15.6	12	10.3	0	0.0	818	18.2
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	408	20.4	412	17.5	23	19.8	2	7.1	845	18.8
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	101	5.1	153	6.5	17	14.7	1	3.6	272	6.0
金品をたかられる	23	1.2	46	2.0	9	7.8	1	3.6	79	1.8
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	99	5.0	195	8.3	17	14.7	4	14.3	315	7.0
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	86	4.3	148	6.3	8	6.9	2	7.1	244	5.4
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	28	1.4	129	5.5	16	13.8	0	0.0	173	3.8
その他	61	3.1	61	2.6	7	6.0	1	3.6	130	2.9
いじめの認知件数	1,998		2,358		116		28		4,500	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-7)いじめる児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	1,782	89.2	2,039	86.5	90	77.6	20	71.4	3,931	87.4
養護教諭が状況を聞く	146	7.3	112	4.7	9	7.8	2	7.1	269	6.0
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	48	2.4	55	2.3	3	2.6	0	0.0	106	2.4
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	27	1.4	46	2.0	9	7.8	0	0.0	82	1.8
学級担任や他の教職員が指導	1,407	70.4	1,860	78.9	75	64.7	21	75.0	3,363	74.7
養護教諭が指導	103	5.2	79	3.4	5	4.3	2	7.1	189	4.2
校長、教頭が指導	298	14.9	82	3.5	54	46.6	3	10.7	437	9.7
別室指導	276	13.8	356	15.1	50	43.1	9	32.1	691	15.4
停学・退学処分	—	—	—	—	2	1.7	3	10.7	5	0.1
グループ替えや席替え、学級替え等	366	18.3	96	4.1	7	6.0	0	0.0	469	10.4
出席停止	0	0.0	6	0.3	—	—	—	—	6	0.1
訓告	3	0.2	2	0.1	0	0.0	0	0.0	5	0.1
保護者への報告	993	49.7	1,538	65.2	64	55.2	5	17.9	2,600	57.8
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	733	36.7	1,091	46.3	65	56.0	1	3.6	1,890	42.0
児童相談所、警察等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	12	0.6	44	1.9	3	2.6	1	3.6	60	1.3
その他	10	0.5	26	1.1	7	6.0	3	10.7	46	1.0
いじめの認知件数	1,998		2,358		116		28		4,500	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-8)いじめられた児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	1,837	91.9	2,176	92.3	100	86.2	23	82.1	4,136	91.9
養護教諭が状況を聞く	231	11.6	275	11.7	21	18.1	0	0.0	527	11.7
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	109	5.5	209	8.9	13	11.2	0	0.0	331	7.4
学級担任や他の教職員が継続的にケアを行う	933	46.7	1,412	59.9	72	62.1	19	67.9	2,436	54.1
養護教諭が継続的に面談しケアを行う	136	6.8	154	6.5	15	12.9	0	0.0	305	6.8
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行う	80	4.0	187	7.9	10	8.6	0	0.0	277	6.2
別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	107	5.4	135	5.7	11	9.5	6	21.4	259	5.8
緊急避難としての欠席	46	2.3	60	2.5	6	5.2	1	3.6	113	2.5
他の児童・生徒に対し、助力・支援を個別に依頼	247	12.4	288	12.2	17	14.7	0	0.0	552	12.3
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	215	10.8	616	26.1	18	15.5	2	7.1	851	18.9
グループ替えや席替え、学級替え等	468	23.4	127	5.4	10	8.6	0	0.0	605	13.4
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	48	2.4	42	1.8	2	1.7	0	0.0	92	2.0
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	25	1.3	53	2.2	2	1.7	1	3.6	81	1.8
その他	22	1.1	6	0.3	3	2.6	0	0.0	31	0.7
いじめの認知件数	1,998		2,358		116		28		4,500	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-9)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	789	91.6	397	95.7	132	71.0	22	51.2	1,340	89.0
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	799	92.8	399	96.1	98	52.7	24	55.8	1,320	87.7
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	553	64.2	310	74.7	47	25.3	18	41.9	928	61.7
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	535	62.1	314	75.7	128	68.8	10	23.3	987	65.6
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	575	66.8	313	75.4	110	59.1	15	34.9	1,013	67.3
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	301	35.0	192	46.3	47	25.3	7	16.3	547	36.3
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう務めた	167	19.4	115	27.7	22	11.8	1	2.3	305	20.3
P T Aや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	98	11.4	80	19.3	8	4.3	1	2.3	187	12.4
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	114	13.2	79	19.0	11	5.9	2	4.7	206	13.7
その他	17	2.0	10	2.4	5	2.7	2	4.7	34	2.3
学校総数	861		415		186		43		1,505	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

## (2-10)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

## 【いじめを認知した学校】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施	463	100.0	362	100.0	62	87.3	1	11.1	888	98.1
個別面談の実施	327	70.6	346	95.6	61	85.9	7	77.8	741	81.9
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	194	41.9	147	40.6	4	5.6	4	44.4	349	38.6
家庭訪問	212	45.8	264	72.9	11	15.5	2	22.2	489	54.0
その他	41	8.9	20	5.5	3	4.2	3	33.3	67	7.4
いじめを認知した学校数	463		362		71		9		905	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

## 【いじめを認知していない学校】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施	398	100.0	53	100.0	86	74.8	6	17.6	543	90.5
個別面談の実施	267	67.1	50	94.3	101	87.8	19	55.9	437	72.8
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	202	50.8	29	54.7	7	6.1	6	17.6	244	40.7
家庭訪問	221	55.5	38	71.7	5	4.3	21	61.8	285	47.5
その他	26	6.5	1	1.9	8	7.0	8	23.5	43	7.2
いじめを認知していない学校数	398		53		115		34		600	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

## 【合計】

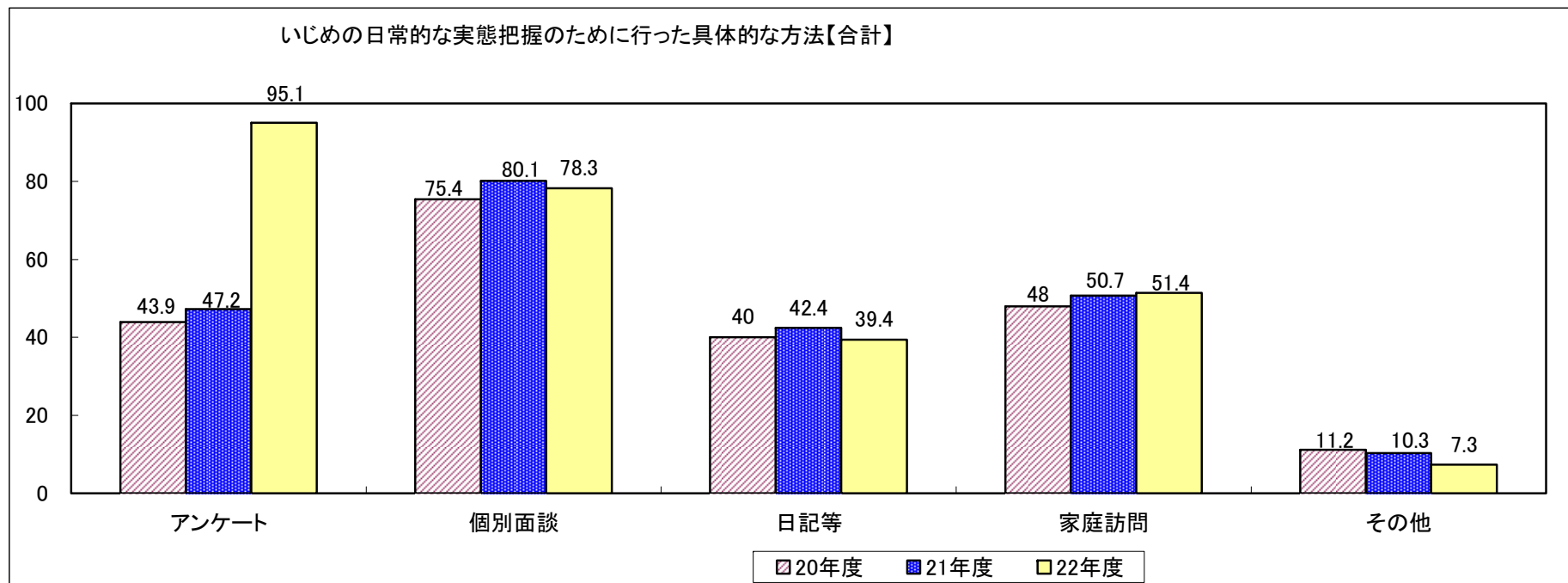
区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施	861	100.0	415	100.0	148	79.6	7	16.3	1,431	95.1
個別面談の実施	594	69.0	396	95.4	162	87.1	26	60.5	1,178	78.3
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	396	46.0	176	42.4	11	5.9	10	23.3	593	39.4
家庭訪問	433	50.3	302	72.8	16	8.6	23	53.5	774	51.4
その他	67	7.8	21	5.1	11	5.9	11	25.6	110	7.3
学校総数	861		415		186		43		1,505	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)

いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法(3カ年推移)【小・中・高・特別支援学校合計】



(2-11)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校							中学校				特別支援学校			合計	就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	小学部	中学部	計		
平成22年度	0	0	3	0	1	3	7	18	4	0	22	0	0	0	29	13

## 3 不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校（中等教育学校を含む）】

## (3-1) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	133	214	295	384	535	685	2,246	1,775	2,657	3,124	7,556	9,802

(参考1)

不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

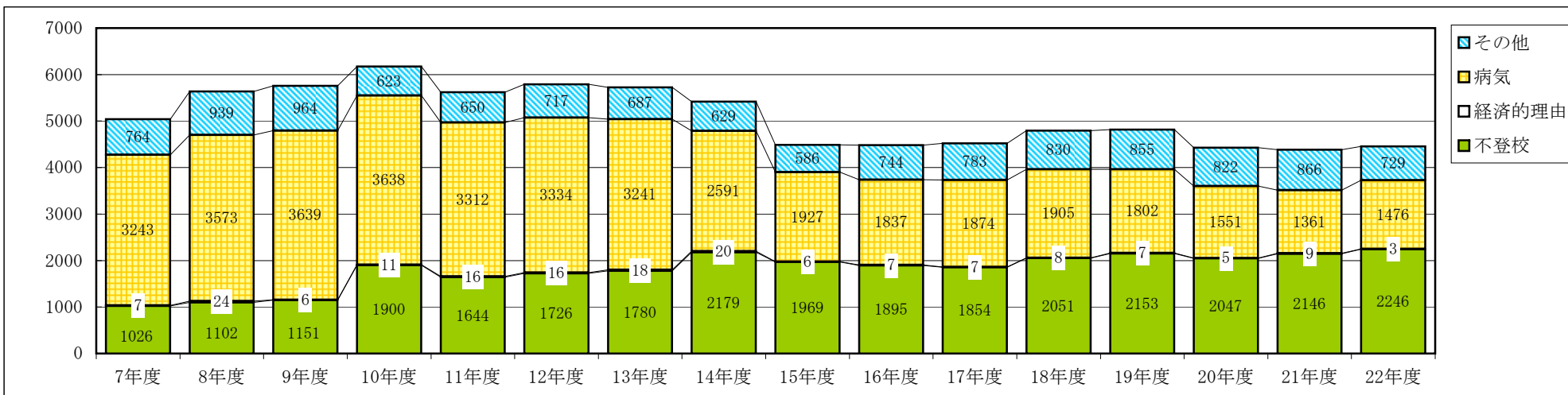
区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数 (人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校 生徒数 の増減 率(%)	(A) 全児童・ 生徒数 (人)	(B) 不登校 児童・生 徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校 児童・生 徒数の 増減率 (%)
7年度	487,323	1,026	0.21	—	237,307	3,905	1.65	—	724,630	4,931	0.68	—
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	▲ 13.5	215,077	6,599	3.07	▲ 0.4	664,032	8,243	1.24	▲ 3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	▲ 2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	▲ 9.6	194,953	7,007	3.59	▲ 1.6	652,354	8,976	1.38	▲ 3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	▲ 3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	▲ 0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	▲ 2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	▲ 4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	▲ 0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	▲ 4.0	678,141	9,819	1.45	▲ 2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	▲ 1.5	677,288	9,802	1.45	▲ 0.2



(参考2)

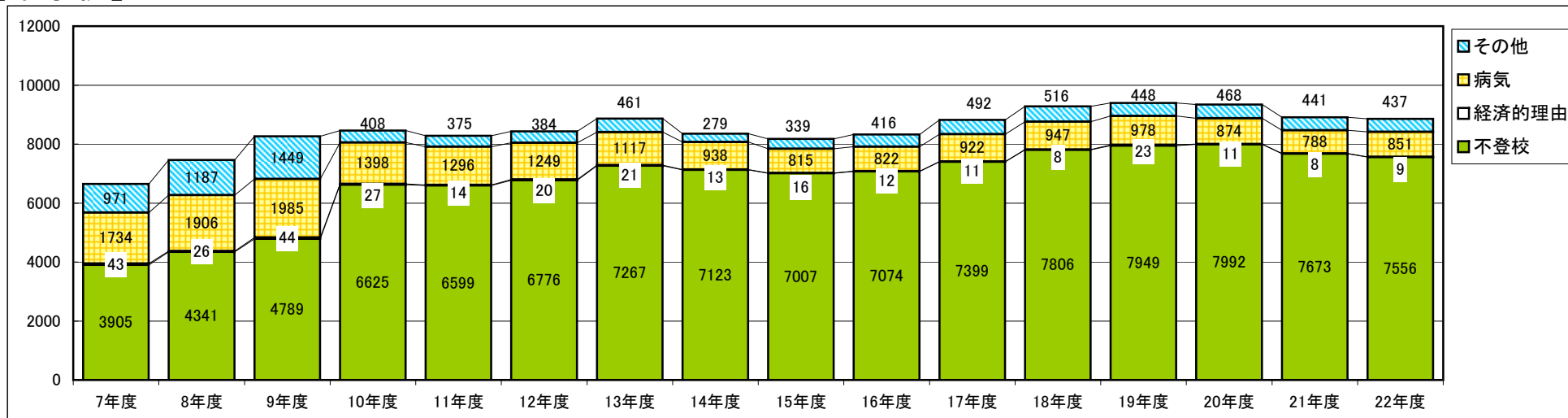
公立小・中学校 理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移 (「学校基本調査」結果より)

【小学校】



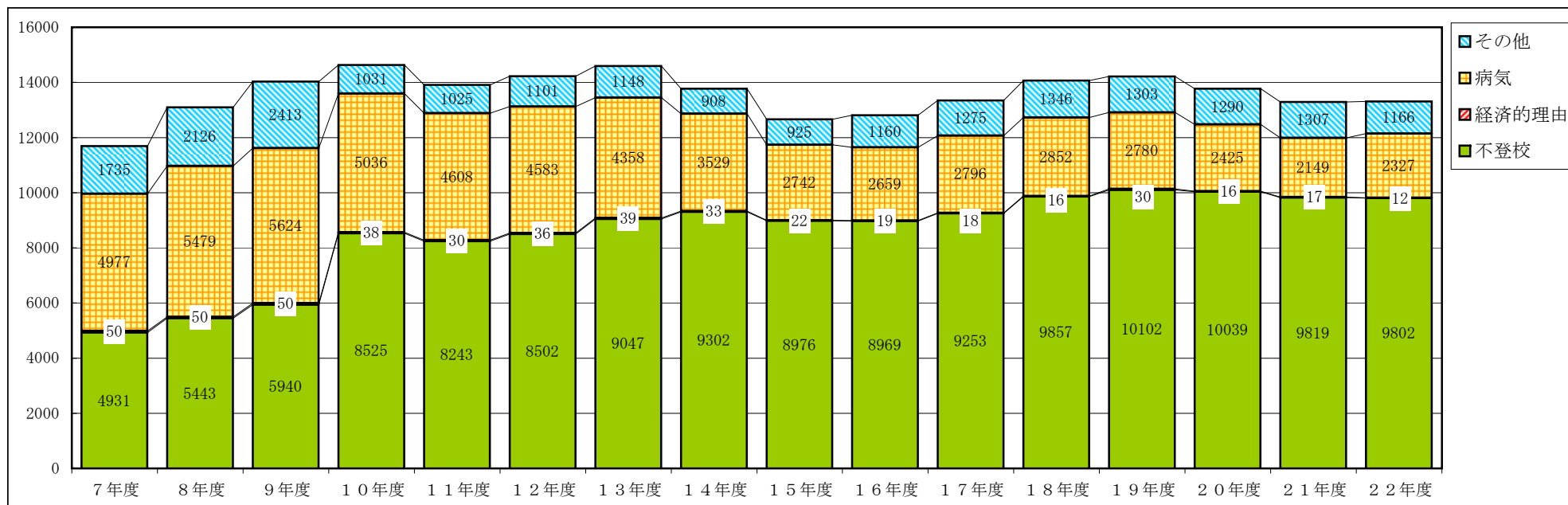
	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
不登校 (出現率)	1,026 0.21%	1,102 0.23%	1,151 0.25%	1,900 0.42%	1,644 0.37%	1,726 0.39%	1,780 0.40%	2,179 0.48%	1,969 0.43%	1,895 0.41%	1,854 0.40%	2,051 0.44%	2,153 0.46%	2,047 0.43%	2,146 0.45%	2,246 0.47%
経済的理由	7	24	6	11	16	16	18	20	6	7	7	8	7	5	9	3
病気	3,243	3,573	3,639	3,638	3,312	3,334	3,241	2,591	1,927	1,837	1,874	1,905	1,802	1,551	1,361	1,476
その他	764	939	964	623	650	717	687	629	586	744	783	830	855	822	866	729
長期欠席合計 (出現率)	5,040 1.03%	5,638 1.20%	5,760 1.25%	6,172 1.36%	5,622 1.25%	5,793 1.30%	5,726 1.28%	5,419 1.20%	4,488 0.98%	4,483 0.97%	4,518 0.97%	4,794 1.02%	4,817 1.02%	4,425 0.93%	4,382 0.92%	4,454 0.94%
全児童数	487,323	471,538	459,642	452,936	448,955	445,809	447,963	451,946	457,401	461,323	467,340	471,352	472,013	475,205	475,693	474,156
長期欠席に 占める不登校の割合	20.36%	19.55%	19.98%	30.78%	29.24%	29.79%	31.09%	40.21%	43.87%	42.27%	41.04%	42.78%	44.70%	46.26%	48.97%	50.43%

## 【中学校】



	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
不登校 (出現率)	3,905 1.65%	4,341 1.86%	4,789 2.08%	6,625 2.96%	6,599 3.07%	6,776 3.24%	7,267 3.54%	7,123 3.56%	7,007 3.59%	7,074 3.69%	7,399 3.85%	7,806 4.02%	7,949 4.02%	7,992 4.00%	7,673 3.79%	7,556 3.72%
経済的理由	43	26	44	27	14	20	21	13	16	12	11	8	23	11	8	9
病気	1,734	1,906	1,985	1,398	1,296	1,249	1,117	938	815	822	922	947	978	874	788	851
その他	971	1,187	1,449	408	375	384	461	279	339	416	492	516	448	468	441	437
長期欠席合計 (出現率)	6,653 2.80%	7,460 3.19%	8,267 3.59%	8,458 3.78%	8,284 3.85%	8,429 4.03%	8,866 4.32%	8,353 4.17%	8,177 4.19%	8,324 4.34%	8,824 4.59%	9,277 4.78%	9,398 4.76%	9,345 4.68%	8,910 4.40%	8,853 4.36%
全生徒数	237,307	233,874	230,087	223,600	215,077	208,985	205,176	200,182	194,953	191,846	192,418	194,015	197,604	199,652	202,448	203,132
長期欠席に 占める不登校の割合	58.70%	58.19%	57.93%	78.33%	79.66%	80.39%	81.96%	85.27%	85.69%	84.98%	83.85%	84.14%	84.58%	85.52%	86.12%	85.35%

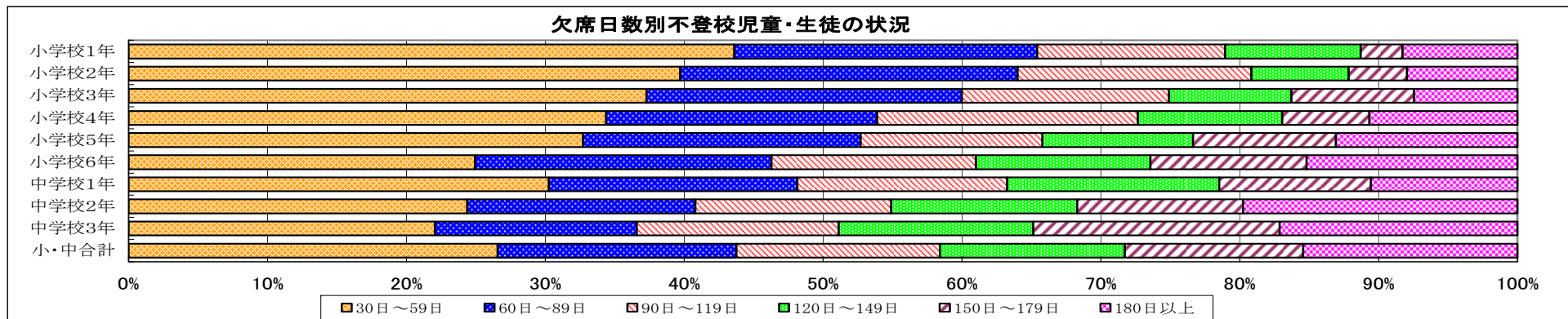
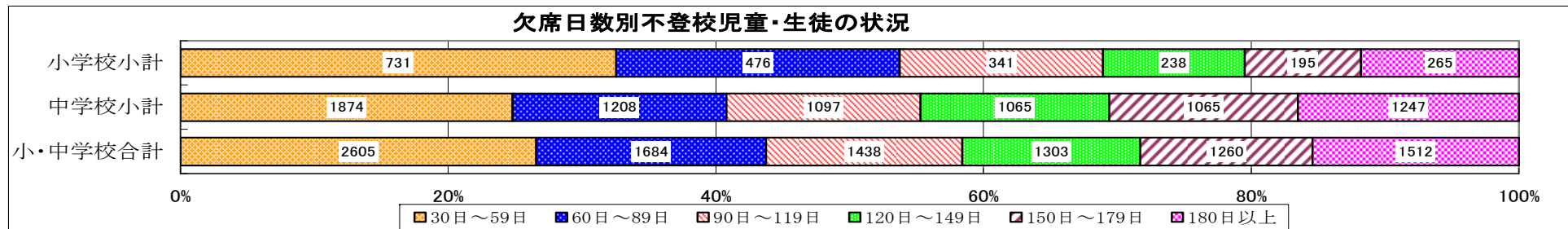
## 【小・中学校合計】



	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
不登校 (出現率)	4,931 0.68%	5,443 0.77%	5,940 0.86%	8,525 1.26%	8,243 1.24%	8,502 1.30%	9,047 1.39%	9,302 1.43%	8,976 1.38%	8,969 1.37%	9,253 1.40%	9,857 1.48%	10,102 1.51%	10,039 1.49%	9,819 1.45%	9,802 1.45%
経済的理由	50	50	50	38	30	36	39	33	22	19	18	16	30	16	17	12
病気	4,977	5,479	5,624	5,036	4,608	4,583	4,358	3,529	2,742	2,659	2,796	2,852	2,780	2,425	2,149	2,327
その他	1,735	2,126	2,413	1,031	1,025	1,101	1,148	908	925	1,160	1,275	1,346	1,303	1,290	1,307	1,166
長期欠席合計 (出現率)	11,693 1.61%	13,098 1.86%	14,027 2.03%	14,630 2.16%	13,906 2.09%	14,222 2.17%	14,592 2.23%	13,772 2.11%	12,665 1.94%	12,807 1.96%	13,342 2.02%	14,071 2.11%	14,215 2.12%	13,770 2.04%	13,292 1.96%	13,307 1.96%
全生徒数	724,630	705,412	689,729	676,536	664,032	654,794	653,139	652,128	652,354	653,169	659,758	665,367	669,617	674,857	678,141	677,288
長期欠席に 占める不登校の割合	42.17%	41.56%	42.35%	58.27%	59.28%	59.78%	62.00%	67.54%	70.87%	70.03%	69.35%	70.05%	71.07%	72.90%	73.87%	73.66%

(3-2) 欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	不登校児童・生徒数	欠席日数											
			30日～59日		60日～89日		90日～119日		120日～149日		150日～179日		180日以上	
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	133	58	43.6	29	21.8	18	13.5	13	9.8	4	3.0	11	8.3
	2年生	214	85	39.7	52	24.3	36	16.8	15	7.0	9	4.2	17	7.9
	3年生	295	110	37.3	67	22.7	44	14.9	26	8.8	26	8.8	22	7.5
	4年生	384	132	34.4	75	19.5	72	18.8	40	10.4	24	6.3	41	10.7
	5年生	535	175	32.7	107	20.0	70	13.1	58	10.8	55	10.3	70	13.1
	6年生	685	171	25.0	146	21.3	101	14.7	86	12.6	77	11.2	104	15.2
	計	2,246	731	32.5	476	21.2	341	15.2	238	10.6	195	8.7	265	11.8
中学校	1年生	1,775	537	30.3	318	17.9	268	15.1	271	15.3	194	10.9	187	10.5
	2年生	2,657	648	24.4	436	16.4	375	14.1	356	13.4	317	11.9	525	19.8
	3年生	3,124	689	22.1	454	14.5	454	14.5	438	14.0	554	17.7	535	17.1
	計	7,556	1,874	24.8	1,208	16.0	1,097	14.5	1,065	14.1	1,065	14.1	1,247	16.5
合計	合計	9,802	2,605	26.6	1,684	17.2	1,438	14.7	1,303	13.3	1,260	12.9	1,512	15.4



## (3-3) 不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A×100)
小学校	861	639	74.2
中学校	415	405	97.6
計	1,276	1,044	81.8

## (3-4) 不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
学校に係る状況	701	31.2	3,886	51.4	4,587	46.8
いじめ	50	2.2	347	4.6	397	4.1
いじめを除く友人関係をめぐる問題	241	10.7	1,543	20.4	1,784	18.2
教職員との関係をめぐる問題	90	4.0	150	2.0	240	2.4
学業の不振	221	9.8	992	13.1	1,213	12.4
進路にかかる不安	18	0.8	113	1.5	131	1.3
クラブ活動、部活動等への不応	2	0.1	234	3.1	236	2.4
学校のきまり等をめぐる問題	17	0.8	259	3.4	276	2.8
入学、転編入学、進級時の不応	62	2.8	248	3.3	310	3.2
家庭に係る状況	1,068	47.6	1,859	24.6	2,927	29.9
家庭の生活環境の急激な変化	285	12.7	507	6.7	792	8.1
親子関係をめぐる問題	625	27.8	970	12.8	1,595	16.3
家庭内の不和	158	7.0	382	5.1	540	5.5
本人に係る状況	1,825	81.3	6,766	89.5	8,591	87.6
病気による欠席	347	15.4	552	7.3	899	9.2
あそび・非行	29	1.3	1,176	15.6	1,205	12.3
無気力	416	18.5	2,015	26.7	2,431	24.8
不安など情緒的混乱	740	32.9	2,027	26.8	2,767	28.2
意図的な拒否	86	3.8	467	6.2	553	5.6
その他本人に関わる問題	207	9.2	529	7.0	736	7.5
その他	252	11.2	149	2.0	401	4.1
不明	81	3.6	289	3.8	370	3.8

不登校児童・生徒数	2,246	7,556	9,802
-----------	-------	-------	-------

(注1)複数回答可(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(注2)パーセンテージは、各区分における不登校児童・生徒数に対する割合

## (3-5) 不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	944	42.0	3,013	39.9	3,957	40.4
指導中の児童・生徒	1,302	58.0	4,543	60.1	5,845	59.6
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒	427	19.0	1,515	20.1	1,942	19.8

## (3-6) 「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒」に特に効果のあった学校の措置

区分	小学校	中学校	計
学校内での指導の改善工夫	1,229	1,499	2,728
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	104	133	237
全ての教師が当該児童・生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	128	156	284
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	78	77	155
養護教諭が専門的に指導にあたった。	96	119	215
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	151	272	423
友人関係を改善するための指導を行った。	132	142	274
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	173	181	354
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	87	91	178
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	132	106	238
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	148	222	370
家庭への働きかけ	582	739	1,321
登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした。	235	223	458
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	170	258	428
保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	177	258	435
他の機関との連携	150	241	391
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	107	173	280
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	43	68	111
その他	18	21	39

(注)複数回答可

## (3-7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計					
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	指導要録上出席扱いした学校数(C)	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	882	193	146	7	2,266	893	265	34	3,148	32.12	1,086	0.3	411	41
①教育支援センター(適応指導教室)	209	96	79	2	740	497	208	20	949	9.68	593	0.6	287	22
②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	338	82	65	1	583	271	107	6	921	9.40	353	0.4	172	7
③児童相談所、福祉事務所	238	12	11	1	486	73	50	1	724	7.39	85	0.1	61	2
④保健所、精神福祉保健センター	30	0	0	0	36	1	1	0	66	0.67	1	0.0	1	0
⑤病院、診療所	258	5	4	0	482	14	7	0	740	7.55	19	0.0	11	0
⑥民間団体、民間施設	81	17	15	2	154	70	52	8	235	2.40	87	0.4	67	10
⑦上記以外の機関等	40	8	5	0	196	35	23	1	236	2.41	43	0.2	28	1
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,364	—	—	—	5,290	—	—	—	6,654	67.88	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	873	—	—	—	2,440	—	—	—	3,313	33.80	—	—	—	—
⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	345	—	—	—	674	—	—	—	1,019	10.40	—	—	—	—
⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	745	—	—	—	2,187	—	—	—	2,932	29.91	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,373	—	—	—	5,116	—	—	—	6,489	66.20	—	—	—	—
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	879	—	—	—	3,740	—	—	—	4,619	47.12	—	—	—	—

(注)①～⑦、⑧、⑨は複数回答可

## (3-8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

小学校	中学校	計
193	893	1,086

## (3-9) 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	46	117
うち「3-8」の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	5	30

## (3-10) 不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
平成22年度不登校児童・生徒数	214	295	384	535	685	2,113	1,775	2,657	3,124	7,556
うち平成21年度から継続	105	141	216	305	437	1,204	701	1,504	2,143	4,348
比率(%)	49.1	47.8	56.3	57.0	63.8	57.0	39.5	56.6	68.6	57.5

## (3-11) 教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	60	35	16.1	182	83.9	217	100.0
計	60	35	16.1	182	83.9	217	100.0



## 4 長期欠席者・不登校生徒の状況【公立高等学校】

## (4-1)高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										
		不登校		経済的理由		病気		その他		計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	120,396	1,802	1.50	22	0.02	638	0.53	1,110	0.92	3,572	2.97	
内 訳	1 年 生	33,639	363	1.08	0	0.00	104	0.31	105	0.31	572	1.70
	2 年 生	32,064	458	1.43	8	0.02	199	0.62	256	0.80	921	2.87
	3 年 生	31,531	374	1.19	9	0.03	223	0.71	346	1.10	952	3.02
	単 位 制	23,162	607	2.62	5	0.02	112	0.48	403	1.74	1,127	4.87
定 時 制	8,726	1,509	17.29	224	2.57	187	2.14	1,065	12.20	2,985	34.21	
内 訳	1 年 生	1,645	287	17.45	30	1.82	36	2.19	225	13.68	578	35.14
	2 年 生	1,219	130	10.66	40	3.28	25	2.05	144	11.81	339	27.81
	3 年 生	934	107	11.46	31	3.32	24	2.57	125	13.38	287	30.73
	4 年 生	771	95	12.32	7	0.91	3	0.39	102	13.23	207	26.85
	単 位 制	4,157	890	21.41	116	2.79	99	2.38	469	11.28	1,574	37.86
計	129,122	3,311	2.56	246	0.19	825	0.64	2,175	1.68	6,557	5.08	
内 訳	1 年 生	35,284	650	1.84	30	0.09	140	0.40	330	0.94	1,150	3.26
	2 年 生	33,283	588	1.77	48	0.14	224	0.67	400	1.20	1,260	3.79
	3 年 生	32,465	481	1.48	40	0.12	247	0.76	471	1.45	1,239	3.82
	4 年 生	771	95	12.32	7	0.91	3	0.39	102	13.23	207	26.85
	単 位 制	27,319	1,497	5.48	121	0.44	211	0.77	872	3.19	2,701	9.89

(注1)在籍者数は、平成22年5月1日現在

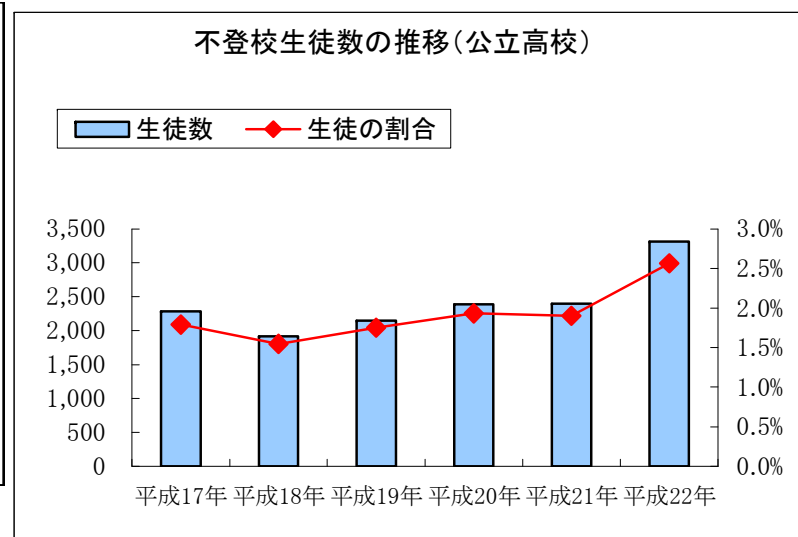
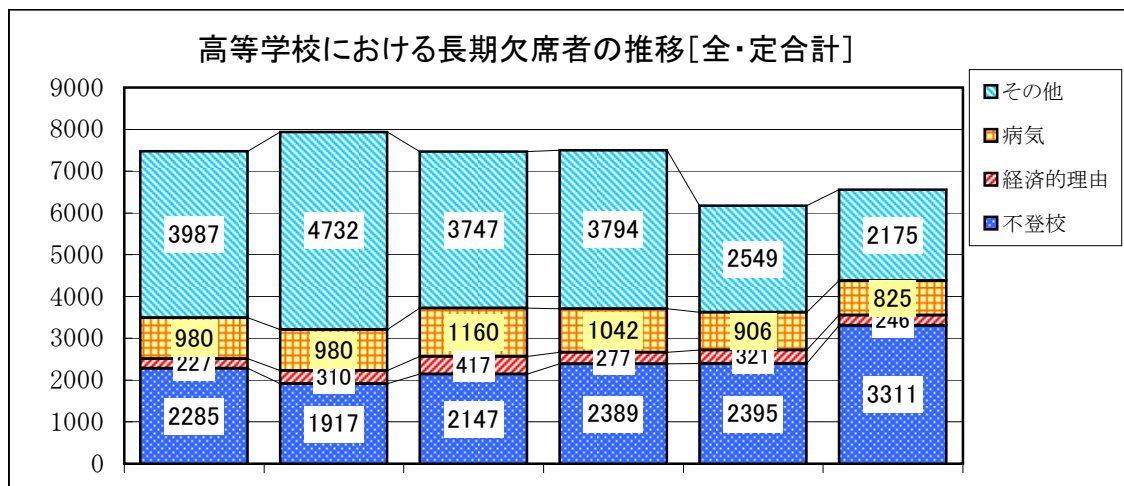
(注2)本調査における「不登校」については、学校基本調査の小中学校における理由別長期欠席者数において、「不登校」(=何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、「病気や「経済的な理由」によるものを除く。))に該当するものを計上している。

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)  
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

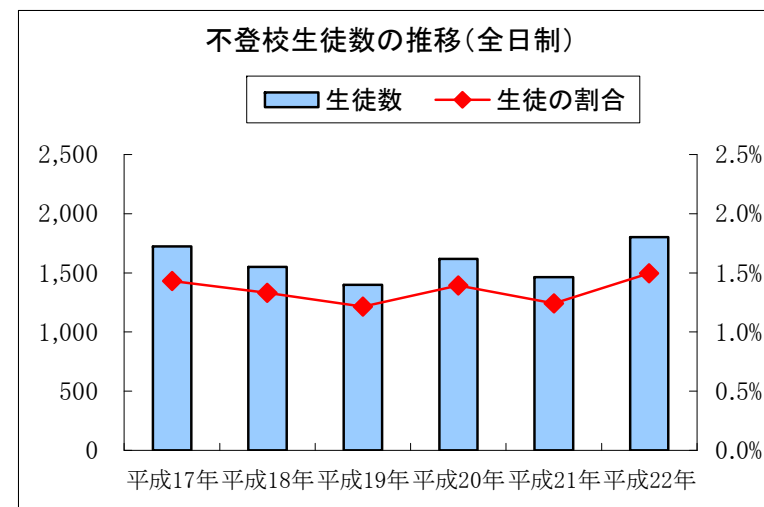
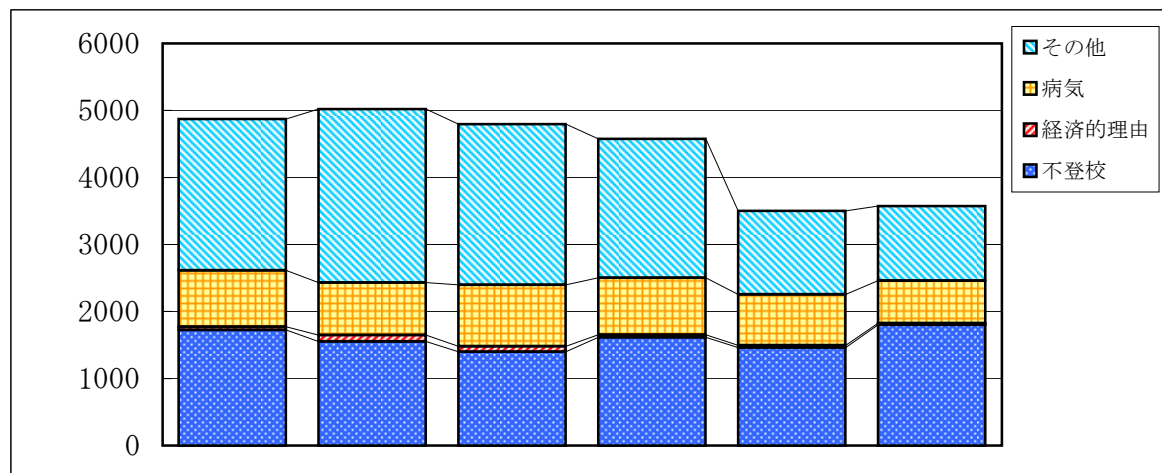
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
17年度	127,552	2,285	1.79	—	227	0.18	—	980	0.77	—	3,987	3.13	—	7,479	5.86	—
18年度	123,992	1,917	1.55	▲ 0.24	310	0.25	0.07	980	0.79	0.02	4,732	3.82	0.69	7,939	6.40	0.54
19年度	122,709	2,147	1.75	0.20	417	0.34	0.09	1,160	0.95	0.15	3,747	3.05	▲ 0.76	7,471	6.09	▲ 0.31
20年度	123,763	2,389	1.93	0.18	277	0.22	▲ 0.12	1,042	0.84	▲ 0.10	3,794	3.07	0.01	7,502	6.06	▲ 0.03
21年度	125,938	2,395	1.90	▲ 0.03	321	0.25	0.03	906	0.72	▲ 0.12	2,549	2.02	▲ 1.04	6,171	4.90	▲ 1.16
22年度	129,122	3,311	2.56	0.66	246	0.19	▲ 0.06	825	0.64	▲ 0.08	2,175	1.68	▲ 0.34	6,557	5.08	0.18



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
不登校	2,285	1,917	2,147	2,389	2,395	3,311
経済的理由	227	310	417	277	321	246
病気	980	980	1,160	1,042	906	825
その他	3,987	4,732	3,747	3,794	2,549	2,175
長期欠席合計 (出現率)	7,479 5.86%	7,939 6.40%	7,471 6.09%	7,502 6.06%	6,171 4.90%	6,557 5.08%
全生徒数	127,552	123,992	122,709	123,763	125,938	129,122
長期欠席に占める不登校の割合	30.55%	24.15%	28.74%	31.84%	38.81%	50.50%

イ 公立高等学校全日制課程

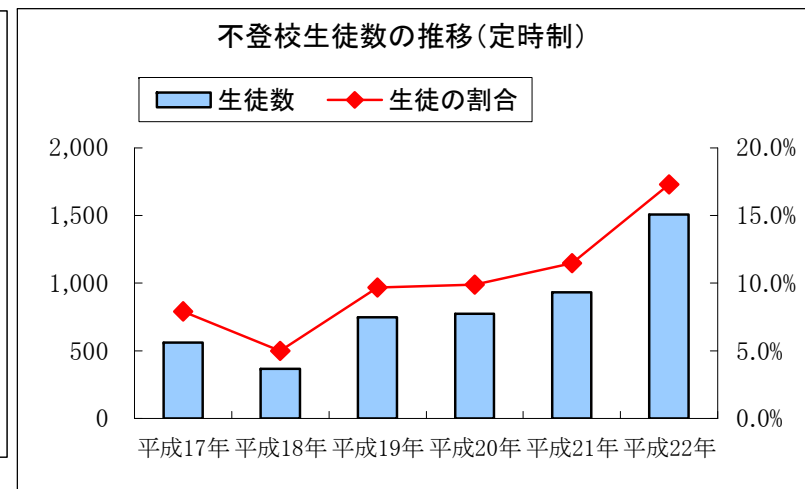
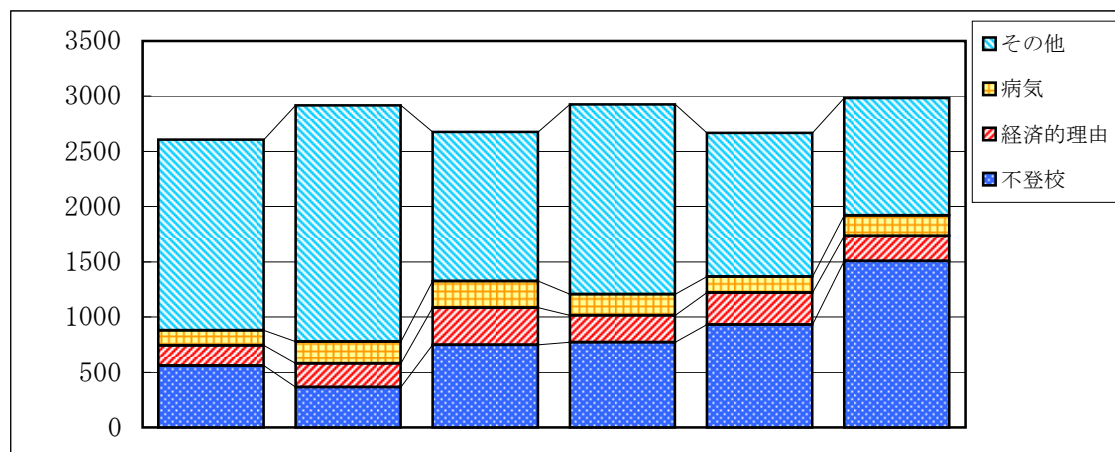
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
17年度	120,453	1,724	1.43	—	46	0.04	—	843	0.70	—	2,259	1.88	—	4,872	4.04	—
18年度	116,661	1,552	1.33	▲ 0.10	95	0.08	0.04	783	0.67	▲ 0.03	2,591	2.22	0.34	5,021	4.30	0.26
19年度	114,986	1,399	1.22	▲ 0.11	80	0.07	▲ 0.01	921	0.80	0.13	2,395	2.08	▲ 0.14	4,795	4.17	▲ 0.13
20年度	115,954	1,617	1.39	0.18	35	0.03	▲ 0.04	850	0.73	▲ 0.07	2,075	1.79	▲ 0.29	4,577	3.95	▲ 0.22
21年度	117,823	1,464	1.24	▲ 0.15	30	0.03	▲ 0.00	763	0.65	▲ 0.09	1,245	1.06	▲ 0.73	3,502	2.97	▲ 0.97
22年度	120,396	1,802	1.50	0.25	22	0.02	▲ 0.01	638	0.53	▲ 0.12	1,110	0.92	▲ 0.13	3,572	2.97	0.00



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
不登校	1,724	1,552	1,399	1,617	1,464	1,802
(出現率)	1.43%	1.33%	1.22%	1.39%	1.24%	1.50%
経済的理由	46	95	80	35	30	22
病気	843	783	921	850	763	638
その他	2,259	2,591	2,395	2,075	1,245	1,110
長期欠席合計	4,872	5,021	4,795	4,577	3,502	3,572
(出現率)	4.04%	4.30%	4.17%	3.95%	2.97%	2.97%
全生徒数	120,453	116,661	114,986	115,954	117,823	120,396
長期欠席に占める不登校の割合	35.39%	30.91%	29.18%	35.33%	41.80%	50.45%

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
17年度	7,099	561	7.90	—	181	2.55	—	137	1.93	—	1,728	24.34	—	2,607	36.72	—
18年度	7,331	365	4.98	▲ 2.92	215	2.93	0.38	197	2.69	0.76	2,141	29.20	4.86	2,918	39.80	3.08
19年度	7,723	748	9.69	4.71	337	4.36	1.43	239	3.09	0.41	1,352	17.51	▲ 11.70	2,676	34.65	▲ 5.15
20年度	7,809	772	9.89	0.20	242	3.10	▲ 1.26	192	2.46	▲ 0.64	1,719	22.01	4.51	2,925	37.46	2.81
21年度	8,115	931	11.47	1.59	291	3.59	0.49	143	1.76	▲ 0.70	1,304	16.07	▲ 5.94	2,669	32.89	▲ 4.57
22年度	8,726	1,509	17.29	5.82	224	2.57	▲ 1.02	187	2.14	0.38	1,065	12.20	▲ 3.86	2,985	34.21	1.32



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
不登校	561	365	748	772	931	1,509
(出現率)	7.90%	4.98%	9.69%	9.89%	11.47%	17.29%
経済的理由	181	215	337	242	291	224
病気	137	197	239	192	143	187
その他	1,728	2,141	1,352	1,719	1,304	1,065
長期欠席合計	2,607	2,918	2,676	2,925	2,669	2,985
(出現率)	36.72%	39.80%	34.65%	37.46%	32.89%	34.21%
全生徒数	7,099	7,331	7,723	7,809	8,115	8,726
長期欠席に占める不登校の割合	21.52%	12.51%	27.95%	26.39%	34.88%	50.55%

## (4-2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全 日 制	不登校生徒数	363	100.0	458	100.0	374	100.0	—	—	607	100.0	1,802	100.0
	うち 前年度から継続	48	13.2	113	24.7	136	36.4	—	—	172	28.3	469	26.0
	うち その他	101	27.8	2	0.4	9	2.4	—	—	177	29.2	289	16.0
定 時 制	不登校生徒数	287	100.0	130	100.0	107	100.0	95	100.0	890	100.0	1,509	100.0
	うち 前年度から継続	21	7.3	58	44.6	49	45.8	56	58.9	511	57.4	695	46.1
	うち その他	205	71.4	5	3.8	3	2.8	0	0.0	163	18.3	376	24.9
計	不登校生徒数	650	100.0	588	100.0	481	100.0	95	100.0	1,497	100.0	3,311	100.0
	うち 前年度から継続	69	10.6	171	29.1	185	38.5	56	58.9	683	45.6	1,164	35.2
	うち その他	306	47.1	7	1.2	12	2.5	0	0.0	340	22.7	665	20.1

(注)パーセンテージは、不登校生徒数に占める割合

(注)「その他」には、不登校生徒のうち前年度の状況が確認できなかった者を計上

## (4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)
不登校生徒数	1,802	100.0	1,509	100.0	3,311	100.0
うち中途退学に至った者	519	28.8	404	26.8	923	27.9
うち原級留置に至った者	83	4.6	72	4.8	155	4.7

(注)※印は不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

## (4-4) 不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	全日制		定時制		計		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
学校に係る状況	796	44.2	494	32.7	1,290	39.0	
内訳	いじめ	6	0.3	1	0.1	7	0.2
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	199	11.0	178	11.8	377	11.4
	教職員との関係をめぐる問題	17	0.9	7	0.5	24	0.7
	学業の不振	272	15.1	140	9.3	412	12.4
	進路にかかる不安	84	4.7	24	1.6	108	3.3
	クラブ活動、部活動等への不適應	26	1.4	5	0.3	31	0.9
	学校のきまり等をめぐる問題	43	2.4	31	2.1	74	2.2
	入学、転編入学、進級時の不適應	149	8.3	108	7.2	257	7.8
家庭に係る状況	359	19.9	212	14.0	571	17.2	
内訳	家庭の生活環境の急激な変化	142	7.9	101	6.7	243	7.3
	親子関係をめぐる問題	138	7.7	78	5.2	216	6.5
	家庭内の不和	79	4.4	33	2.2	112	3.4
本人に係る状況	1,336	74.1	1,080	71.6	2,416	73.0	
内訳	病気による欠席	129	7.2	30	2.0	159	4.8
	あそび・非行	242	13.4	325	21.5	567	17.1
	無気力	581	32.2	347	23.0	928	28.0
	不安など情緒的混乱	219	12.2	70	4.6	289	8.7
	意図的な拒否	88	4.9	122	8.1	210	6.3
	その他本人に関わる問題	77	4.3	186	12.3	263	7.9
その他	22	1.2	29	1.9	51	1.5	
不明	56	3.1	279	18.5	335	10.1	

不登校生徒数	(全日)	1,802	(定時)	1,509	(計)	3311
--------	------	-------	------	-------	-----	------

(注1)複数回答可(複数回答のため、人数の合計は不登校生徒数と合わない)

(注2)パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合(複数回答のため、割合の合計は100%を超える)

## (4-5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制		定時制		計				
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	
学校外	①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)(1)	250	2	72	0	322	9.73	2	0.01
	①教育支援センター(適応指導教室)	20	0	5	0	25	0.76	0	0.00
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	16	1	2	0	18	0.54	1	0.06
	③児童相談所、福祉事務所	22	0	16	0	38	1.15	0	0.00
	④保健所、精神福祉保健センター	4	0	1	0	5	0.15	0	0.00
	⑤病院、診療所	179	1	33	0	212	6.40	1	0.005
	⑥民間団体、民間施設	16	0	12	0	28	0.85	0	0.00
	⑦上記以外の機関等	13	0	16	0	29	0.88	0	0.00
	①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)(2)	1,443	—	1,129	—	2,572	77.68	—	—
	不明(実数)(3)	109	—	308	—	417	12.59	—	—
(1)～(3)の合計	1,802	—	1,509	—	3,311	100.00	—	—	
学校内	⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)(4)	455	—	225	—	680	20.54	—	—
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	291	—	174	—	465	14.04	—	—
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	275	—	92	—	367	11.08	—	—
	⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)(5)	1,347	—	1,284	—	2,631	79.46	—	—
(5)、(6)の合計	1,802	—	1,509	—	3,311	100.00	—	—	
上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数(6)	1,214	—	1,247	—	2,461	74.33	—	—	

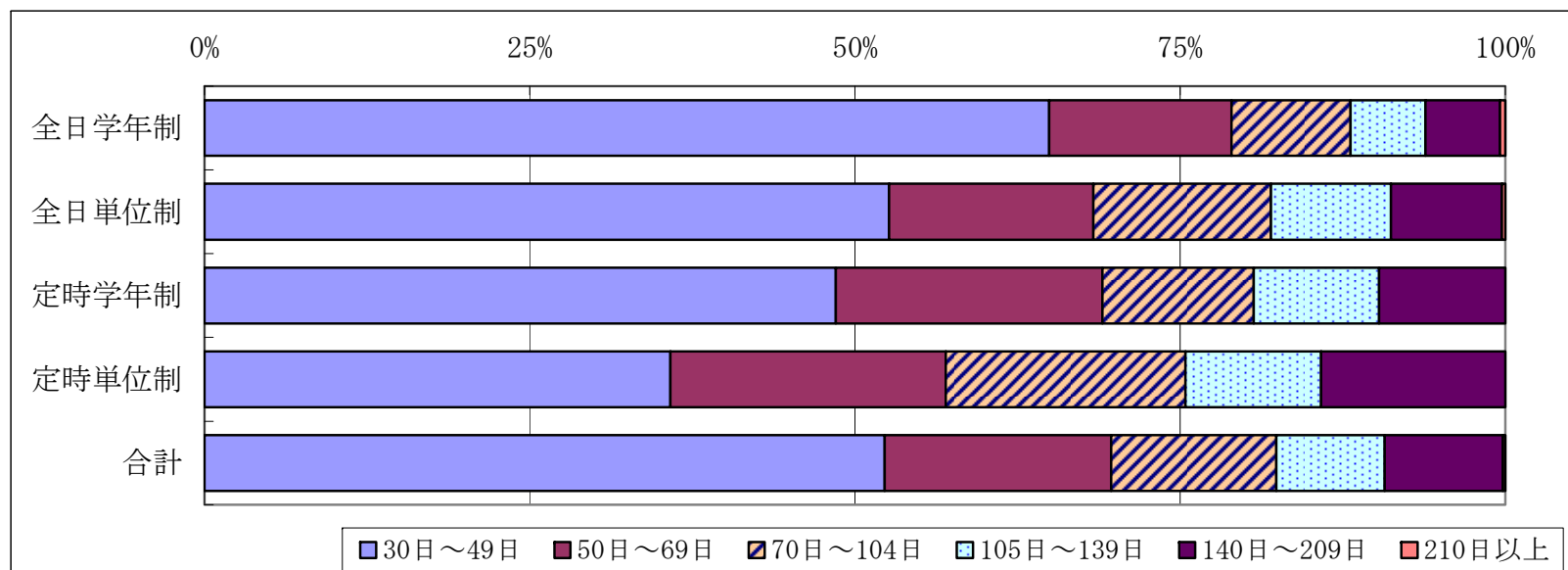
(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答可

(注2)(6)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

## (4-6) 欠席日数別長期欠席生徒の状況

区分	長期欠席生徒数	欠席日数												
		30日～49日		50日～69日		70日～104日		105日～139日		140日～209日		210日以上		
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
全 日 制	3,572	2,181	61.06	519	14.53	378	10.58	245	6.86	236	6.61	13	0.36	
内 訳	1 年 生	572	288	50.35	102	17.83	76	13.29	48	8.39	56	9.79	2	0.35
	2 年 生	921	550	59.72	148	16.07	94	10.21	62	6.73	60	6.51	7	0.76
	3 年 生	952	750	78.78	92	9.66	54	5.67	31	3.26	24	2.52	1	0.11
	単 位 制	1,127	593	52.62	177	15.71	154	13.66	104	9.23	96	8.52	3	0.27
	定 時 制	2,985	1,249	41.84	622	20.84	454	15.21	300	10.05	360	12.06	0	0.00
内 訳	1 年 生	578	221	38.24	93	16.09	99	17.13	84	14.53	81	14.01	0	0.00
	2 年 生	339	189	55.75	83	24.48	27	7.96	20	5.90	20	5.90	0	0.00
	3 年 生	287	158	55.05	59	20.56	22	7.67	25	8.71	23	8.01	0	0.00
	4 年 生	207	117	56.52	54	26.09	16	7.73	7	3.38	13	6.28	0	0.00
	単 位 制	1,574	564	35.83	333	21.16	290	18.42	164	10.42	223	14.17	0	0.00
計	6,557	3,430	52.31	1,141	17.40	832	12.69	545	8.31	596	9.09	13	0.20	
内 訳	1 年 生	1,150	509	44.26	195	16.96	175	15.22	132	11.48	137	11.91	2	0.17
	2 年 生	1,260	739	58.65	231	18.33	121	9.60	82	6.51	80	6.35	7	0.56
	3 年 生	1,239	908	73.28	151	12.19	76	6.13	56	4.52	47	3.79	1	0.08
	4 年 生	207	117	56.52	54	26.09	16	7.73	7	3.38	13	6.28	0	0.00
	単 位 制	2,701	1,157	42.84	510	18.88	444	16.44	268	9.92	319	11.81	3	0.11

(注)パーセンテージは、各区分における長期欠席生徒数に対する割合





## 5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

### (5-1) 課程・学年別中途退学者数

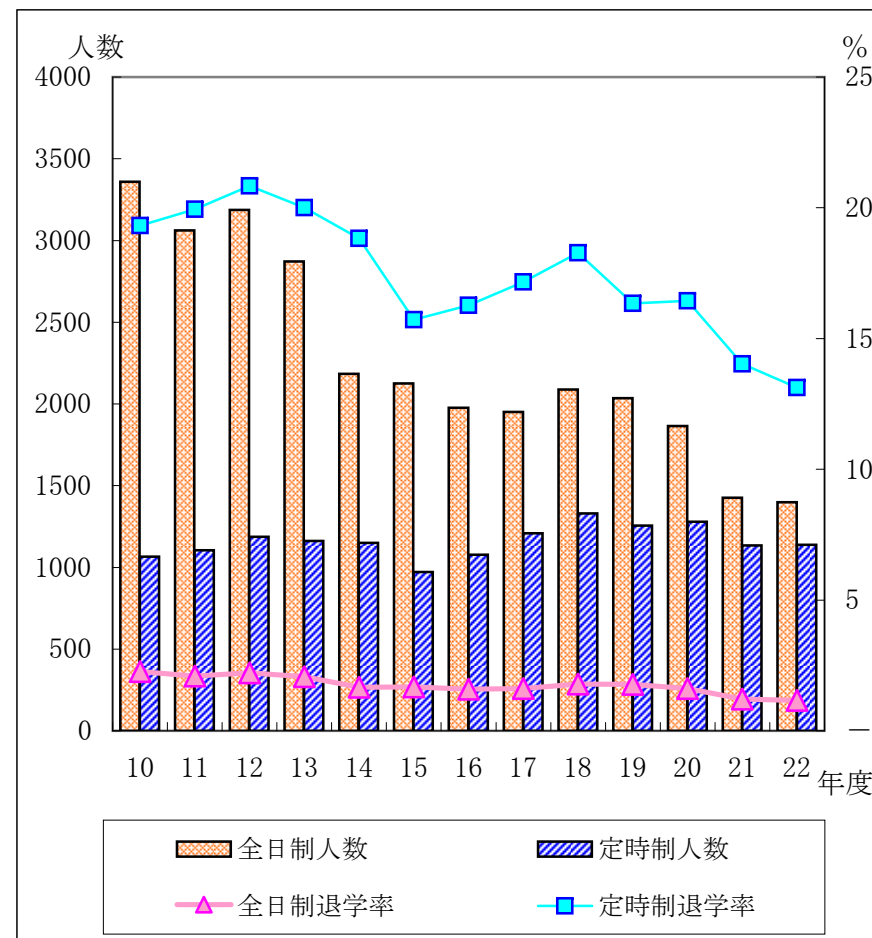
区分	全日制					定時制						合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	
中途退学者数	443	442	150	363	1,398	394	126	65	31	523	1,139	2,537

#### (参考)

中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制		
	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)
平成10年度	3,360	2.27	—	1,066	19.32	—
平成11年度	3,061	2.09	▲ 0.18	1,104	19.95	0.63
平成12年度	3,188	2.21	0.12	1,187	20.83	0.88
平成13年度	2,871	2.07	▲ 0.14	1,162	20.00	▲ 0.83
平成14年度	2,185	1.67	▲ 0.40	1,150	18.83	▲ 1.17
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	▲ 3.11
平成16年度	1,976	1.60	▲ 0.07	1,078	16.28	0.56
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12
平成19年度	2,036	1.77	▲ 0.02	1,255	16.34	▲ 1.94
平成20年度	1,865	1.61	▲ 0.16	1,279	16.44	0.10
平成21年度	1,426	1.21	▲ 0.40	1,134	14.03	▲ 2.41
平成22年度	1,398	1.16	▲ 0.05	1,139	13.12	▲ 0.91

(注)中途退学率は、平成22年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合



## (5-2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	92	6.6	80	7.0
学校生活・学業不適応	544	38.9	311	27.3
もともと高校生活に熱意がない	228	16.3	159	14.0
授業に興味がない	129	9.2	41	3.6
人間関係がうまく保てない	60	4.3	56	4.9
学校の雰囲気が合わない	69	4.9	22	1.9
その他	58	4.1	33	2.9
進路変更	538	38.5	454	39.9
別の高校への入学を希望	134	9.6	47	4.1
専修・各種学校への入学を希望	14	1.0	6	0.5
就職を希望	174	12.4	265	23.3
高卒程度認定試験を受験希望	100	7.2	26	2.3
その他	116	8.3	110	9.7
病気・けが・死亡	56	4.0	30	2.6
経済的理由	8	0.6	8	0.7
家庭の事情	65	4.6	81	7.1
問題行動等	21	1.5	27	2.4
その他の理由	74	5.3	148	13.0
定時制のみ ※仕事の多忙	—	—	88	7.7
定時制のみ ※勤務先の事情	—	—	12	1.1
その他	74	5.3	48	4.2
中途退学者数	1,398	100.0	1,139	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

## (5-3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
①授業料減免を受けていた者	2	25.0	1	1.5
②奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0
③授業料の滞納があった者	1	12.5	1	1.5
④上記のいずれかにも該当しない者	5	62.5	6	9.1
経済的理由による中途退学者数	8	100.0	8	100.0

(注1)①～③については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

## (5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1年生	297	1.02	146	3.16	—	—	394	23.88	837	2.37
2年生	336	1.21	106	2.32	—	—	126	10.40	568	1.69
3年生	125	0.46	25	0.56	—	—	65	6.79	215	0.66
4年生	—	—	—	—	—	—	31	3.95	31	3.95
単位制	145	1.45	34	0.98	184	2.02	523	12.82	886	3.32
合計	903	0.96	311	1.81	184	2.02	1,139	13.12	2,537	1.97

(注)割合は、平成22年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

## (5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制			定時制	合計
	普通科	専門学科	総合学科		
1年生	0	0	0	0	0
2年生	1	0	0	0	0
3年生	1	0	0	0	0
4年生	—	—	—	0	0
単位制	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0

(注)懲戒による退学者とは、平成22年度中に懲戒処分により退学した者をいう。

## (5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

区分	全日制						定時制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1年生	89	0.31	26	0.56	—	—	107	6.48	222	0.63
2年生	85	0.31	19	0.42	—	—	36	2.97	140	0.42
3年生	14	0.05	6	0.13	—	—	33	3.45	53	0.16
4年生	—	—	—	—	—	—	19	2.42	19	2.42
単位制	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	188	0.22	51	0.37	—	—	195	4.24	434	0.42

(注1)原級留置者とは、平成23年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、平成22年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

## (5-7) 課程・学科・学年別再入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	0	0	0	0
2 年 生	0	0	0	6	0	6
3 年 生	0	0	0	5	0	5
4 年 生	—	—	—	0	0	0
単 位 制	1	0	1	5	77	84
合計	1	0	1	16	77	95

(注)再入学者とは、平成22年度以前に高等学校を退学した者で、退学したとき同一の学校の同一課程・学科に平成22年度中に入学した者をいう。

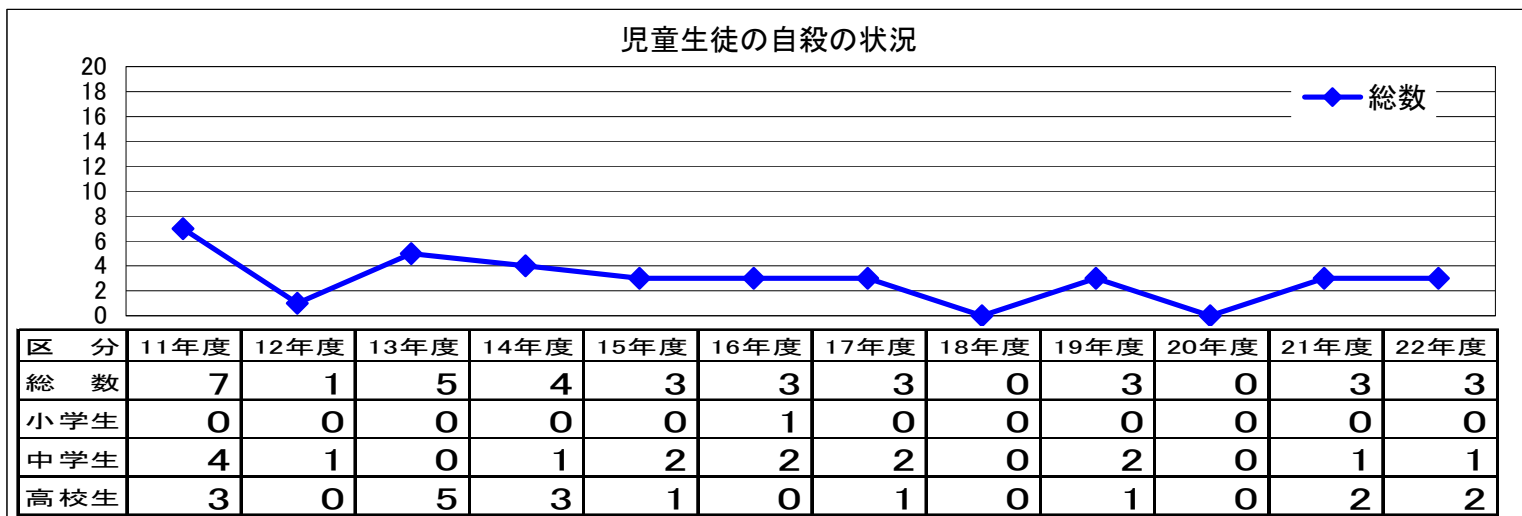
## (5-8) 編入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	0	0	0	0
2 年 生	1	0	0	16	0	17
3 年 生	0	0	0	13	0	13
4 年 生	—	—	—	2	0	2
単 位 制	36	0	1	5	45	87
合計	37	0	1	36	45	119

(注)編入学者とは、平成22年度以前に高等学校を退学した者で、いずれかの高等学校に平成22年度中に入学した者の中から、「(5-7) 課程・学科・学年別再入学者数」を除いた者をいう。

## 6 児童・生徒の自殺の状況【公立小・中（中等教育学校を含む）・高等学校】

## (6-1) 児童・生徒の自殺の状況



## (6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校						中学生				高校生				合計	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生		計
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	3
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	3

## (6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
父母等のしっ責	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学業不振	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
教職員との関係での悩み	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	—	1	100.0	0	0.0	1	33.3
病弱等による悲観	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
厭世	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
異性問題	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	0	—	1	100.0	2	100.0	3	100.0
その他	0	—	1	100.0	0	0.0	1	33.3

(注1)複数回答可

(注2)構成比は、各区分における自殺した児童・生徒数に対する割合。

## 7 出席停止の状況【公立小・中学校（中等教育学校を含む）】

## (7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
平成22年度	0	2	2

## (7-2)出席停止の学年別・男女別件数

区分	学年別件数											合計
	小学校						中学校					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生		
平成22年度	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	7	7

男女別件数			
区分	小学校	中学校	計
男子	0	1	1
女子	0	6	6

## (7-3)出席停止の期間別件数

区分	1～3日	4～6日	7～13日	14～20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	7	0	0	0	7

## (7-4)出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	1	6	0	7
計	0	0	0	0	1	6	0	7

(注)複数回答可

## 8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

### （8-1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・教育研究所	3	25 (8.3)	80 (26.7)	105 (35.0)
教育相談所・相談室	5	10 (2.0)	77 (15.4)	87 (17.4)

(注1)( )内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

### （8-2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
教育センター・教育研究所	6,921	7,082	1,506	0	15,509
教育相談所・相談室	11,618	6,229	29	47,522	65,398
計	18,539	13,311	1,535	47,522	80,907

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

### （8-3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・教育研究所での来所教育相談件数(A)	3,267	2,342	913	399	6,921
教育相談所・相談室での来所教育相談件数(B)	3,497	6,892	871	358	11,618
来所教育相談総件数(AとBの合計)	6,764	9,234	1,784	757	18,539
うち、いじめに関する教育相談件数	26	76	28	4	134
うち、不登校に関する教育相談件数	2,582	5,717	716	137	9,152

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

## (8-4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計	
教育相談件数	電話相談	2,807	3,222	4,274	3,008	13,311	
	訪問相談	431	460	241	403	1,535	
	巡回相談	29,218	18,304	0	0	47,522	
内数	いじめに関する相談	電話相談	585	418	199	125	1,327
		訪問相談	0	1	0	0	1
		巡回相談	188	214	0	0	402
	不登校に関する相談	電話相談	481	633	244	166	1,524
		訪問相談	45	106	52	0	203
		巡回相談	2,920	6,497	0	0	9,417

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

## (8-5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

## ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	42
---------	----

## イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(任)	32	127	159
構成比(%)	20.1	79.9	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	0.8	3.0	3.8

## ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
件数(件)	18,232	9,044	3,307	2,961	33,544

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。